

福岡市のエネルギー政策

～エネルギーを「創る」「賢く使う」そして「快適に過ごす」まちづくり～

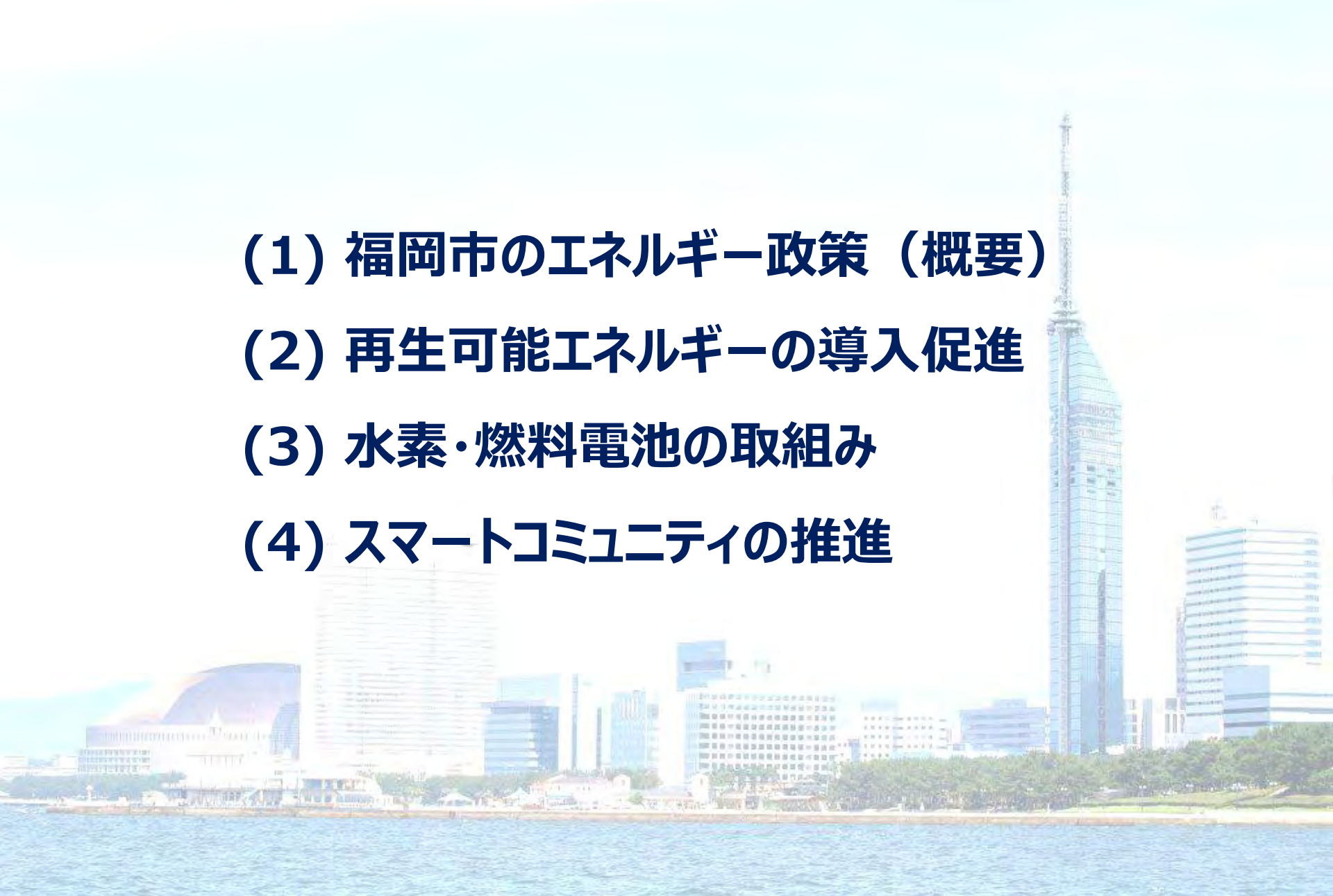
Dec. 11, 2014



Fukuoka City

本日の内容

- (1) 福岡市のエネルギー政策（概要）**
- (2) 再生可能エネルギーの導入促進**
- (3) 水素・燃料電池の取組み**
- (4) スマートコミュニティの推進**



福岡市のエネルギー政策（概要）

めざす姿

エネルギーを“創る” “賢く使う” そして“快適に過ごす”
ふくおかの心地よい都市づくり！

●「ふくおか型の自律分散型エネルギー社会」の早期実現

地域の特性を踏まえ、広域エネルギーインフラとの連携のもと、多様なエネルギー資源を最大限活用した分散型エネルギーを導入し、効率的に利用する。

●環境・エネルギーのモデルとなる都市をめざす

地球環境にやさしく、災害・停電等の対策にも寄与し、生活の質の向上にも資するモデルとなるような都市をめざす。

《2030年度の姿》

地球環境 への貢献

- 住宅・建物への再エネ導入，次世代自動車の普及
- 市民・事業者の理解が進み，意識することなくエネルギーを効率的に利用

生活環境 への貢献

- 地域で創られたエネルギーを相互融通するシステムが作られ，ICTとのネットワークにより様々な生活関連サービスが充実
- 災害時の対策に寄与するエネルギーの分散化が進む

経済環境 への貢献

- 福岡発の新たなエネルギー産業の創出
- 産学官民の取組が国内外から注目



再生可能エネルギーの導入促進

発電事業者は福岡市！

メガソーラー



市有施設の屋根貸し

第1弾

政令市初！

大原メガソーラー発電所（西区今津）

【発電開始】平成25年2月
【発電出力】1,000kW
【年間発電量】116万kWh（220世帯分）
【事業費】約5.2億円（20年間）※リース契約
【20年間売電収入】約8.5億円（20年間）

第2弾

埋立跡地活用
自立運転機能

蒲田メガソーラー発電所（東区蒲田）

【発電開始】平成26年3月
【発電出力】1,000kW
【年間発電量】108万kWh（200世帯分）
【事業費】約5.0億円（20年間）※リース契約
【20年間売電収入】約7.7億円（20年間）

市有施設の屋根を民間事業者にも有料で貸し出し、
民間事業者が太陽光発電施設を設置

メリット

初期投資が不要

→同時に多くの場所に設置可能
→大規模化が可能

メリット

一定の賃料収入を確保

メリット

自立運転機能や蓄電池の設置が可能

福岡市有施設への再生
可能エネルギー導入実績

発電出力 73,333kW
(平成25年度末：169施設)

FUKUOKA CITY



再生可能エネルギーの導入促進

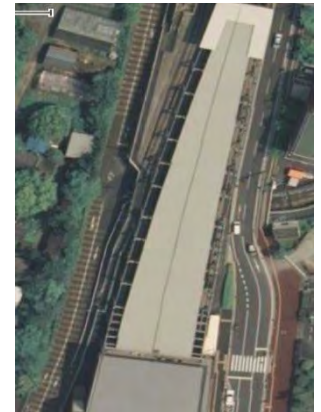
多様化へのチャレンジ

● 公共施設の再生可能エネルギーのさらなる率先導入

公共施設の屋根利用の拡大
水面などさまざまな未利用スペースの活用 など



地下鉄貝塚駅



● 民間施設への再生可能エネルギーの導入支援

市民参加の仕組みづくり（市民共同発電）
まちづくりとの連携 など

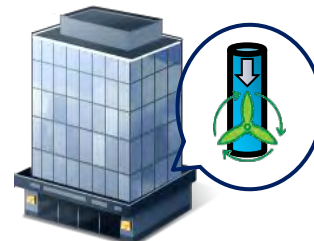


● 多様な再生可能エネルギーの開発・普及支援

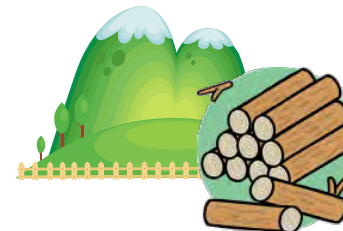
小形風力発電，小水力発電，木質バイオマス… など



風レンズ風車



ビル内小水力



木質バイオマス

FUKUOKA CITY



水素・燃料電池の取組み



出典: 経済産業省「水素・燃料電池戦略ロードマップ」(2014 年6 月)



水素・燃料電池の取組み

世界初

福岡市発!! 夢のプロジェクト始動

水素リーダー都市プロジェクト

家庭



下水

中部水処理センター



ヤフオクドーム 近く

水素

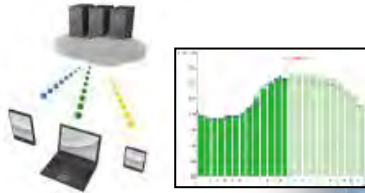
燃料電池自動車



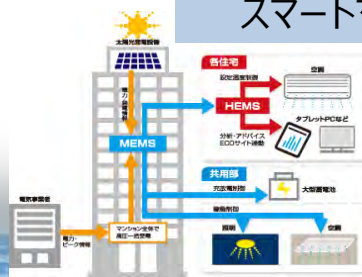
スマートコミュニティの推進

アイランドシティ スマートコミュニティ創造事業

IT（でんき予報）



スマートマンション



スマートハウス



電力会社

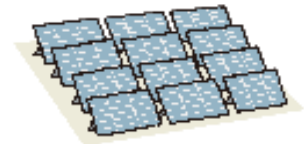


通信

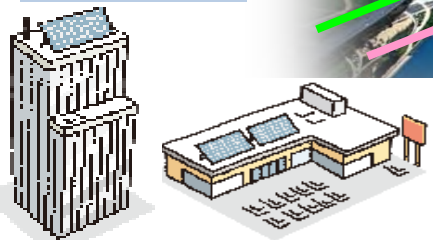
電気

地域エネルギー
マネジメントシステム
(CEMS)

再生可能エネルギー



スマートビル



情報発信拠点



次世代自動車



水素供給施設

FUKUOKA CITY



スマートコミュニティの推進

●福岡市スマートコミュニティ創造協議会

福岡市におけるスマートコミュニティの推進に向けた、産学官民の連携組織。再生可能エネルギーの効率的な利用，ITを活用した生活支援サービス，燃料電池技術の応用，人材育成などにより，スマートコミュニティ関連ビジネスの創出や生活の質の向上につなげていく。

●福岡スマートハウスコンソーシアム

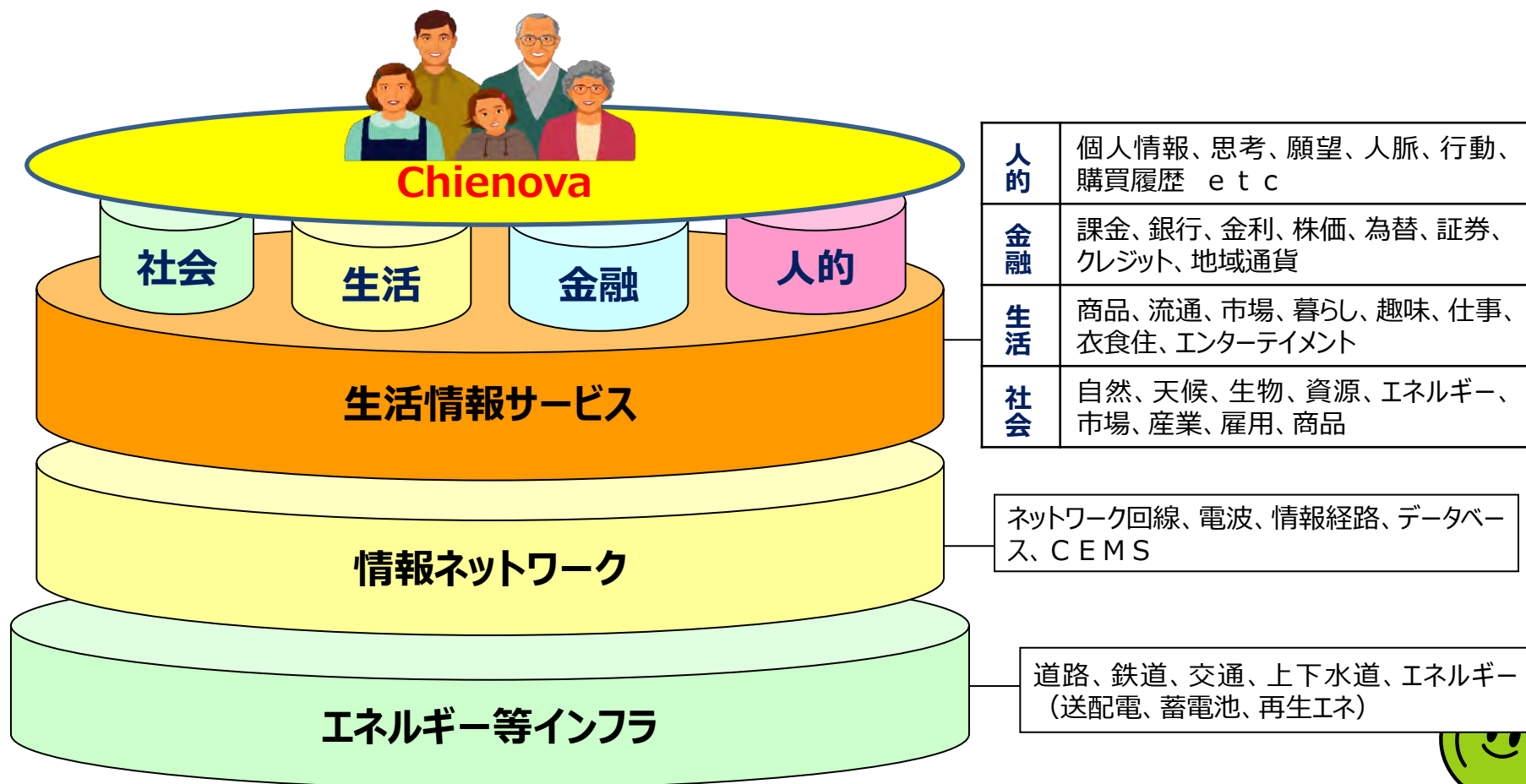
持続可能な低炭素社会の実現に向け、エネルギー関連機器やシステム構築を研究・開発する企業と大学等により発足。スマートハウス常設展示場において、『エネルギーを創る、蓄える、賢く使う』をキーワードに、様々な実証実験を実施。



FUKUOKA CITY

スマートコミュニティの推進

- 生活の質の向上を実感できるスマートコミュニティを実現するためには、生活情報サービス部分の優れた設計や仕組みが必要。
- スマートコミュニティが住民にとって必要な事業となるには、住民にとってどのような快適さが生まれるのか、コミュニティがどのように充実するのかといった視点が大切。
- 福岡市版スマートコミュニティは、住民の快適さやコミュニティの充実を図るために、住民の潜在的なニーズを引き出すことができるコミュニケーションプラットフォームの手法を活用する





ご清聴ありがとうございました

【お問い合わせ先】

福岡市環境局エネルギー政策課

Mail : energy.EB@city.fukuoka.lg.jp